

イタリア選手権モトクロスが開幕！ ファンティックは初戦から輝きを魅せました。



今シーズンから Fantic Factory Racing Team としてモトクロスへの新たなチャプターを切り開くファンティック。マニファクチュラとして初めて挑戦する MX1 ではグレン＝コルデンホフが歴史の 1 ページを刻む 4 位に入賞、125 ccクラスではノエル＝ザノーチが素晴らしい勝利を飾りました。

イタリア選手権（国際格式）モトクロスが 2024 年シーズンのレースの口火を切る形で開幕。サルディニアはリオラ・サルドで第 1 戦が開催されました。

MX1 クラスでは、ファンティック・ファクトリー・レーシングチームとして初めてのシーズンを迎えたこのレース。トップカテゴリーの MX1 クラスでは、グレン=コルデンホフが出走。チームメイトのロン=ファン・デ・モスティックは体調が思わしくなく欠場し、次週に予定されているマントバのレースからの参戦となる予定です。

グレンが操る Fantic XXF 450 は素晴らしいパフォーマンスを見せ、総合 4 位に入賞しました。125 ccクラスではチームの 3 名のライダーはいずれも健闘。中でもノエル=ザノーチはスリリングなレースの末総合優勝を勝ち取り、シモーネ=マンチーニは総合 4 位に入賞。ドウ=ヴェン・マックグレンは予選 10 位のパフォーマンスを見せました。

MX1

練習走行からマシンとの相性の良さを見せつけたグレン=コルデンホフ。リオラ・サルドのコースも難なく手なずけ、予選では 5 位のタイムを刻み、決勝への大きな手ごたえをつかみました。

レース 1 では抜群のスタートを見せたダッチマン（オランダ人であるコルデンホフ）は 3 位で 1 コーナーに滑り込みます。コースコンディションが厳しさを増す中、コルデンホフはその順位をキープ。さらにプッシュしようというレース終盤、ミスが出て大きくコントロールを失います。世界選手権に向けた最初のレースで大きなミスを行いたくないグレンは冷静に判断し、無理に順位を追わずレースをまとめ、6 位でフィニッシュしました。

レース 2 では圧巻のパフォーマンスでファンティックのピットは沸き立ちました。最高のスタートからトップを数ラップ。XXF450 とコルデンホフはレースをリードし、最終的には 3 位を獲得。6-3 の総合 4 位に初戦をまとめたのです。

グレン=コルデンホフ

『予選で 5 位のタイムも残せて、今日はいいいスタートになったと思うよ。ただ、このレーストラックを走るのは初めてで、チームも全く練習することができなかったから、いいセットアップを見つけるにはちょっと時間が必要だったんだ。そのせいもあってヒート 1 ではマシンコントロールに苦労したけど、ヒート 2 に向けてセットをまとめ直して、それがうまくいったね。ホールシ

レース2の中心はまたもマンチーニとザノーチでした。ホールショット争いから2台が競い合う展開は、1周目にザノーチが転倒する形となりましたが、ザノーチは諦めることなく見事にリカバー。6週目には再びトップに立ち、チェッカーフラッグまでその位置を守り抜いて、見事な勝利を飾りました。マンチーニは3位を守り続けましたが最終ランプに転倒。素早く立て直し、4位入賞となりました。一方、ヴェン・マックグレンは2度の転倒を喫し、順位を回復させることができないまま17位でのフィニッシュとなりました。3-1でレースをまとめたザノーチは総合優勝。次の週末に続くイタリア選手権のポイントリーダーに輝いています。

ダニエル=マルキーゼ (チームマネージャー)

『この厳しいレーストラックで素晴らしいパフォーマンスを見せることができ、本当にうれしいね！ノエル=ザノーチは2つのヒートレースをあきらめずにまとめきっての素晴らしい勝利となったし、シモーネ=マンチーニも速さを魅せてくれた。レース1での転倒が響いたのが残念だったな。ヴェン・マックグレンは怪我からの復帰戦で4ヵ月ぶりのレースだから、レース1の結果は正直驚くほどの回復ぶりだったし、レース2もクラッシュがなければいいところまで行けたと思うよ』

